

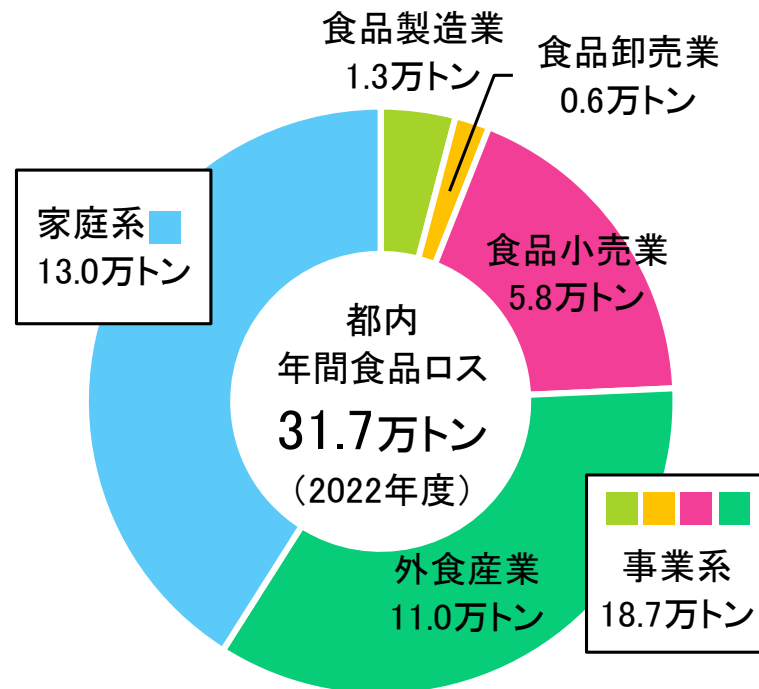
食品ロスの発生状況及び東京都の取組

東京都環境局

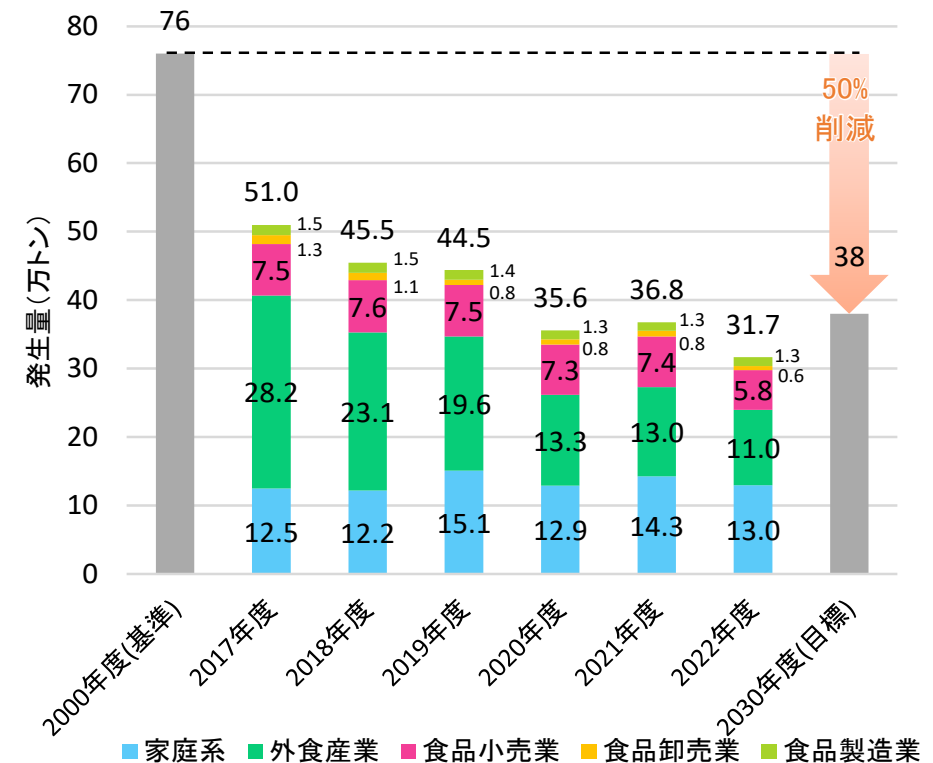
東京都の食品ロス発生量

- ✓ 令和4(2022)年度の都内の食品ロス発生量は年間31.7万トン、前年度より約5万トン削減
- ✓ 令和2(2020)年度以降、新型コロナウイルス感染症による事業者と消費者の行動変容、意識変化に伴い、食品ロスが抑制された影響が考えられる。引き続き令和5年5月の5類移行に伴う動向を注視

都内の食品ロスの内訳(2022)

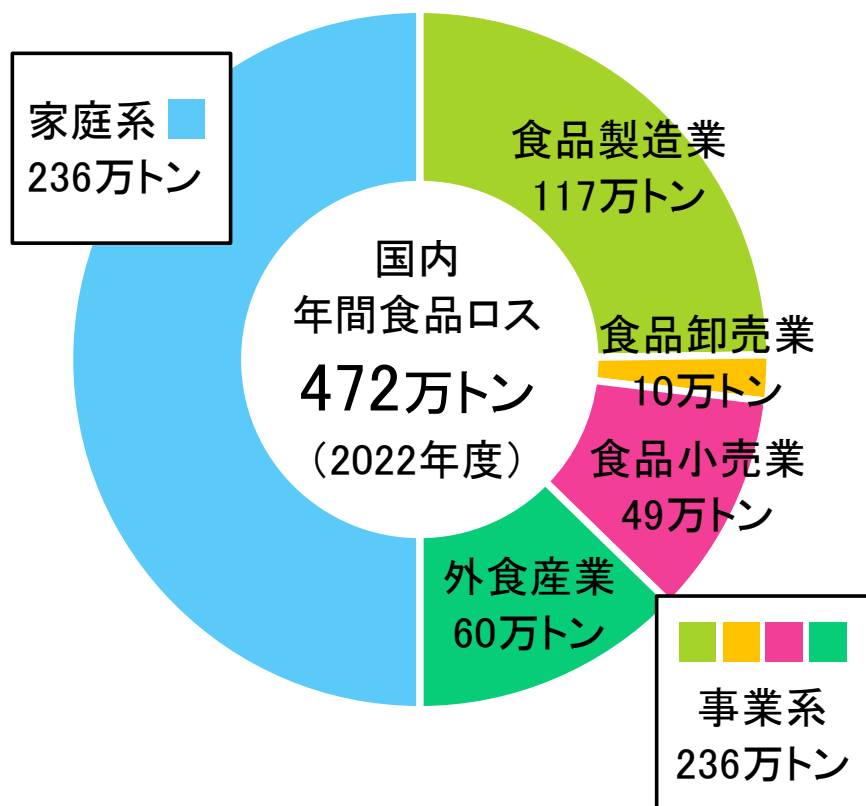


都内の食品ロス発生量の推移

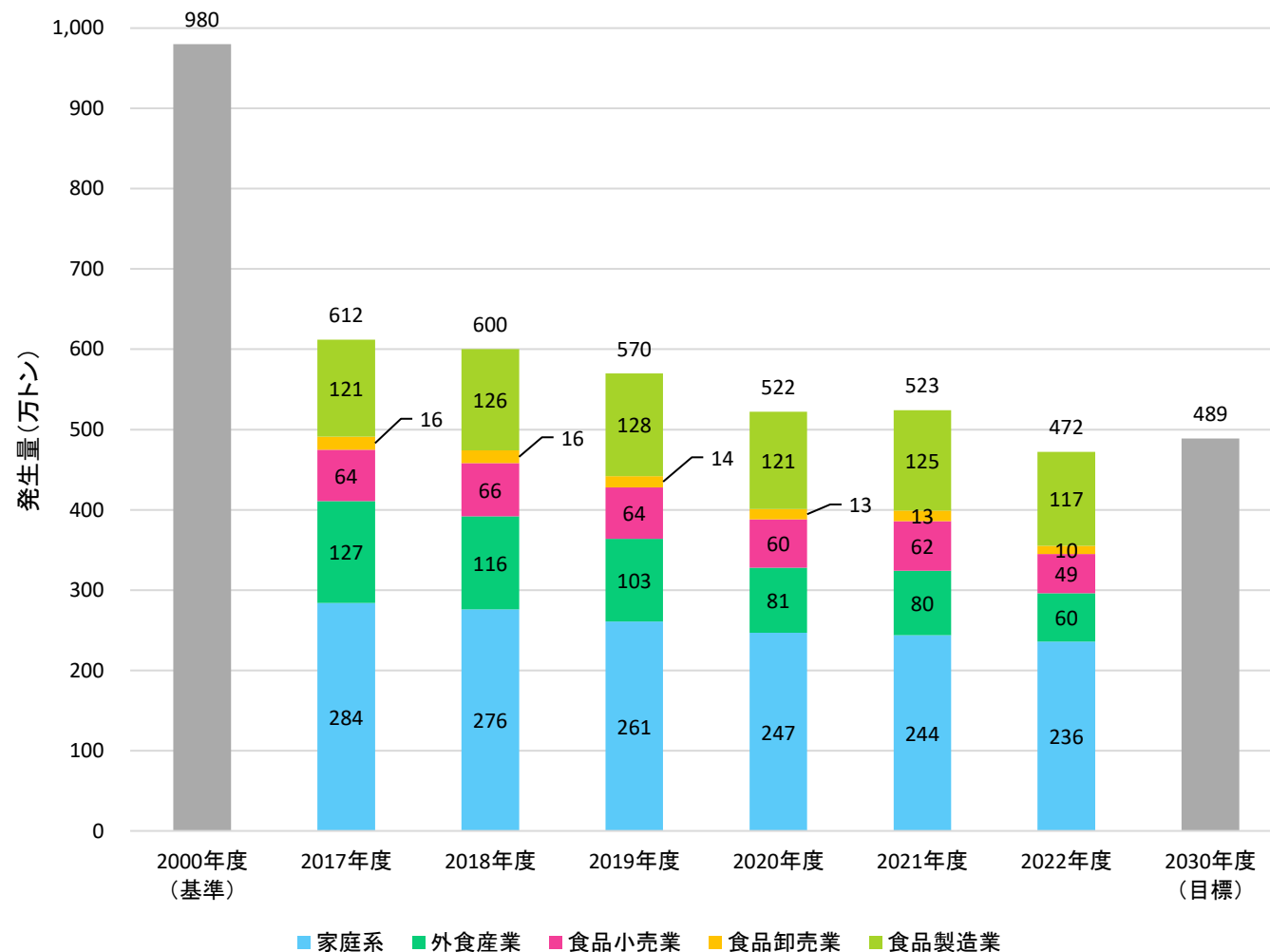


(参考) 国内の食品ロス発生状況

国内の食品ロスの内訳(2022)

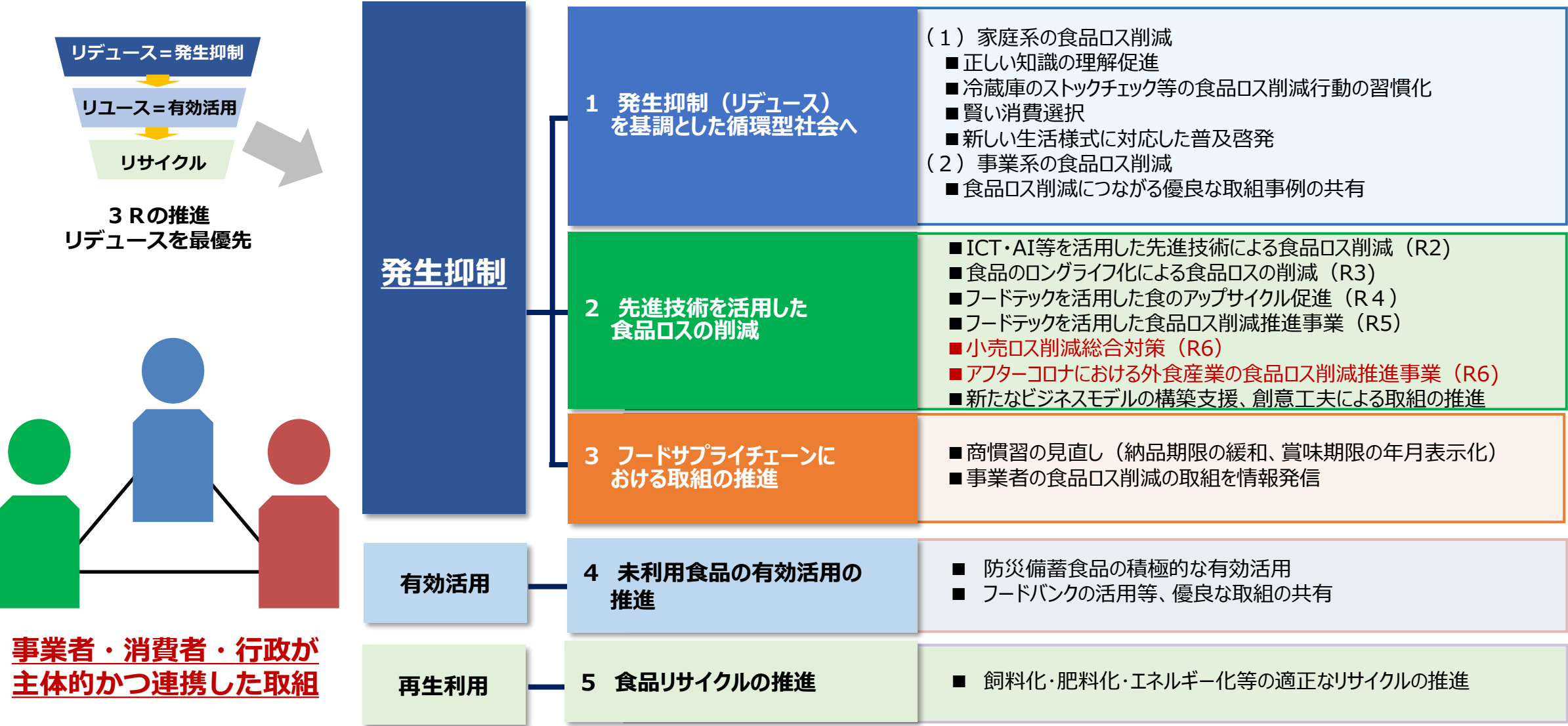


国内の食品ロス発生量の推移



東京都食品ロス削減推進計画（2021年3月策定） 施策の全体構成

- ✓ 発生抑制に軸を置きつつ、家庭系・事業系ロス削減に向け取組を推進
- ✓ 事業者・消費者・行政が主体的かつ連携した取組が重要。都は様々な主体と連携し事業を展開



小売ロス削減総合対策

- ✓ 目的: 都内の食品ロス削減を推進することを目的とし、食品ロスの発生抑制に寄与する機器類の導入や、余剰食品のフードバンク寄贈経費など、メニュー選択式の補助
- ✓ 申請受付期間: 令和6年5月から令和7年12月まで
- ✓ 予算: 令和6年度: 97百万円 ✓ 採択実績(令和6年12月現在): 3件(急速冷凍機の導入)

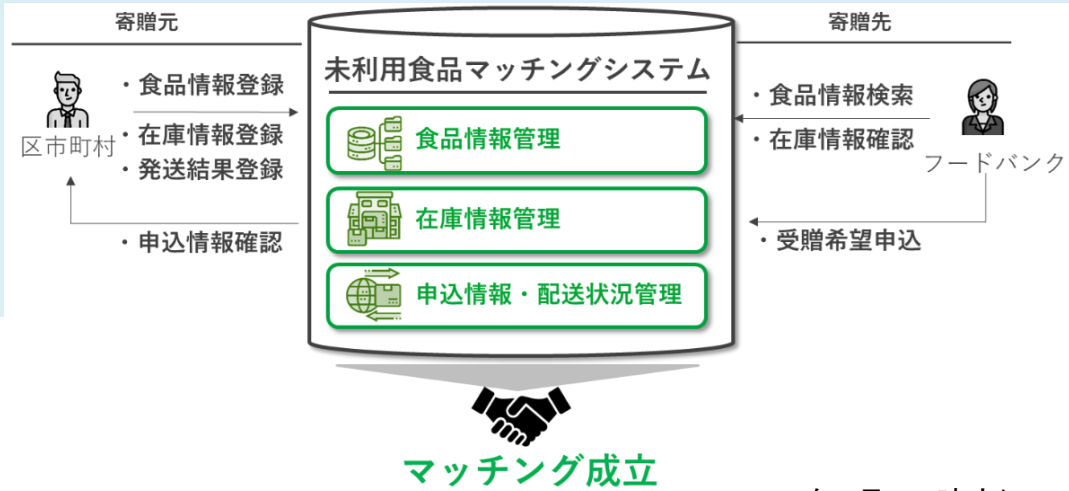


補助対象 事業	No.	補助メニュー	補助率	1店舗当たりの 補助上限額 (万円)	補助対象経費
	1	食品ロスの発生抑制に資するシステム (需要予測、ダイナミックプライシング、 フードシェアリング等)の導入支援	1/2	250	システムの導入費 及び運用費
	2	食品ロスの発生抑制に資する 量り売り用機器の導入支援	1/2	150	量り売り用機器の 導入費及び運用費
	3	食品のロングライフ化に資する 急速冷凍機の導入支援	1/2	300	急速冷凍機の導入 費及び運用費
	4	特殊包装等ロングライフ製品の 販売促進に係る普及啓発支援	1/2	50	販売促進に係るPR 経費
	5	賞味期限前の食品のフードバンクへの 寄贈に係る輸送費支援	10/10	14.4	フードバンクへの 寄贈に係る輸送費
	6	食品廃棄物のコンポスト設備の 導入支援	1/2	100	コンポスト設備の 導入費及び運用費
	7	食品廃棄物のリサイクル支援	1/2	100	焼却費用に対する 食品リサイクル費 用の上乗せ分
	8	小売ロス削減を目的とした事業者提案に 対する支援 ※1から7のメニュー以外のもの	1/2	250	提案事業に要する 経費

※事業者当たりの合計交付額の上限は1,500万円

防災備蓄食品の積極的な有効活用 未利用食品マッチングシステム

- 区市町村や都の防災備蓄食品とフードバンクをマッチングするシステムを、2021年2月に構築、4月から本格運用開始
- 区市町村・都の関係機関の計24団体がユーザー登録、フードバンク等は15団体が登録（農水省HP：都内のフードバンク数は22団体）（2025年1月1日時点）
- 食品情報の登録、閲覧、申込を本システム上で一括して行うことが可能
- 区市町村・都の事業所等において地元のフードバンク等に寄贈するなど、自ら有効活用が難しい場合に本システムを利用



●未利用食品マッチングシステム利用実績

(2025年1月1日時点)

年度	マッチング件数	マッチング食数	寄贈先登録者数		寄贈元登録者数		
			区部	多摩	特別区	多摩市町村	東京都※
令和2年度	5	19,150	5	7	10	10	—
令和3年度	30	25,590	0	0	2	1	1
令和4年度	46	57,600	2	0	1	0	3
令和5年度	243	138,242	0	1	0	0	7
令和6年度	109	46,735	0	0	0	0	5
合計	433	287,317	7	8	13	11	16

※総務局 2、福祉局 1、保健医療局1、交通局2、下水道局 4、教育庁2、主税局 4 の計 16 件



東京フードドライブの実施

- ✓ 都の施設においてイベント等の機会を捉え寄付窓口を設置し、自治体や企業、メディアと連携したフードドライブ活動を実施
- ✓ 都民へのフードドライブ参加を促し、食品ロス削減の機運を高める。

1 実施時期等

No.	実施時期	イベント名	イベント概要	実施場所	主催者、連携先
1	10/25-27	東京味わいフェスタ	・東京産食材や名産品を販売するマルシェやPRブースの展開 ・東京の農林水産に係る体験メニューの提供 等 ・開催地域内の飲食店によるイベント限定メニューの提供	豊洲	産業労働局 江東区
2	11/3	J1リーグ33節 (FC東京ホームゲーム)	対戦相手 FC東京 VS 湘南ベルマーレ	味の素スタジアム外 (アジパング広場)	FC東京 フードバンク調布

2 実施スキーム

- ・区市町村や企業等と連携してイベント会場で食品を回収
- ・イベント会場内で食品ロス削減に関するパネル展示、冊子配布、動画放映を行いPR
- ・回収後はフードバンク等に寄贈
 - No. 1 ⇒江東区 (50点 重量8.9Kg)
 - No. 2 ⇒フードバンク調布 (283点 重量45.8Kg)





東京サーキュラーエコノミー推進センター（T-CEC）との連携

- ✓ 令和4年4月に地域密着型サーキュラービジネスの拠点として東京サーキュラーエコノミー推進センター（T-CEC）を環境公社内に設置
- ✓ 都民、事業者、関係団体、自治体と連携を図りながら、サーキュラーエコノミーの実現に向けた様々な事業を展開

地域密着型サーキュラービジネスの創出

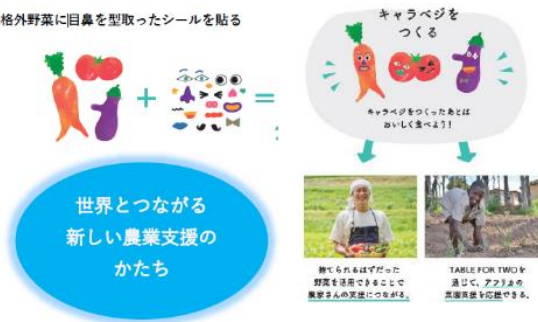
○相談・マッチング

- ・使い捨てプラスチック・食品ロス等削減に向けたアドバイスから、都が実施する補助事業の案内、また、親和性のある他事業者等とのマッチングに至るまでワンステップでサポート

○サーキュラーエコノミーの実現に向けた社会実装化事業（R6:選定6件）

- ・民間企業や自治体等と連携し、プラスチックや食品ロス削減に資する事例を創出

規格外野菜に目鼻を型取ったシールを貼る



キャラベジプロジェクト



マイボトル洗浄機を活用した
マイボトル普及に向けた実証実験

サーキュラーエコノミーに係る情報発信

○情報発信・交流ポータル

- ・ポータルサイトやSNS等を活用し、都民・事業者等に食品ロスに関する区市町村の取り組み、イベント情報を発信

○オンラインセミナー・シンポジウム

- ・使い捨てプラスチック対策などサーキュラーエコノミーの推進について、外部有識者等による講演などを実施

○CEサロン

- ・コワーキングスペース等で新ビジネス創出のための学び、ネットワーキングの場づくりサロンを実施



特設ポータルサイト



CEサロン

T-CEC特設
ポータルサイト
はコチラ↓



<参考>T-CECホームページに掲載中の区市町村の食品ロス情報

- ✓ 東京サーキュラーエコノミー推進センター(T-CEC)と連携し、HP上で区市町村(23区20市)の寄付窓口情報を掲載
- ✓ 定期的(年1~2回程度)に情報更新し、都民が日常的にフードドライブに参加できる環境を整備

<画面展開方法>

TOKYOサーキュラーアクションページタブより「区市町村の取組」を選択⇒エリアを選択⇒区を選択⇒フードドライブについて「詳しくはこちら」を選択



消費者向け普及啓発事業

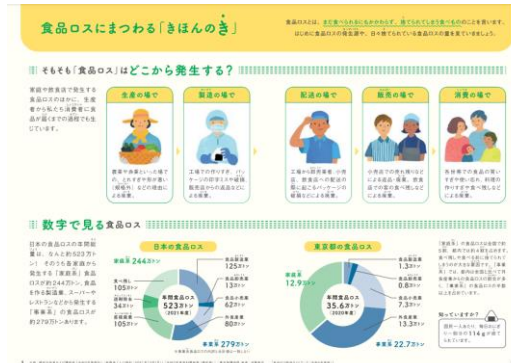
- ✓ 都民が食品ロスについて考え、削減に向け行動するきっかけとして、「東京食品ロス0(ゼロ)アクション」の啓発冊子の配布及び動画をWEBサイトに掲載(継続)
- ✓ 東京都環境局のWEBサイトを「見える化サイト」に更新し、都民にも分かりやすいウェブサイトへ
- ✓ サイト上に、子供を対象とした食品ロスの普及啓発クイズを開設、子供が食品ロスの関心を高めることで、同時に親世代への波及を狙い



食欲のわくイラストを多用した冊子(日・英)



東京都食品ロス0
アクション冊子、動画



食品廃棄物・食品ロスとは

「食品ロス」は、まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことをいいます。食品ロスは、単にごみを減らすだけでなく、大消費地・東京として食料資源を無駄なく活用するという観点からも、削減していく必要があります。



食品ロス削減の推進に向けて

食品ロスは、資源の無駄遣いだけでなく、地球温暖化の原因となるCO₂排出にもつながる深刻な問題です。この問題を解決するために、東京都は「食品ロス削減推進法」に基づいた計画を立て、企業、消費者、行政が協力して様々な対策を講じています。

詳細はこちら>> [東京都食品ロス削減推進計画](#)

PROJECT

消費者向けコンテンツ



見える化サイト



食品ロス普及啓発クイズ